

滋賀県道路整備アクションプログラム  
地域別アクションプログラム（東近江地域）第3回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年11月16日（水） 13時30分～15時30分

場 所：滋賀県東近江合同庁舎3階3-C会議室

出席者：井口 清幸 委員（竜王町 産業建設主監）

（市岡 忠司委員 竜王町 道路計画課課長 代理出席）

上阪 廣子 委員（近江八幡地区交通安全協会 会長）

大塚 ふさ 委員（社会福祉法人東近江市社会福祉協議会 会長）

改田 俊次 委員（公募委員）

藏口きよ江 委員（公募委員）

嶋村 和典 委員（日野町 建設計画課課長）

洲鎌 雅之 委員（東近江警察署 交通課課長）

田井中外和 委員（東近江市 都市整備部部長）

（藤田 明男委員 東近江市 都市整備部次長 代理出席）

塚口 博司 委員（座長）（立命館大学 名誉教授）

福本 盛重 委員（近江八幡市 都市整備部部長）

前出みずほ 委員（近江八幡商工会議所女性会 副会長）

山本身江子 委員（日野町地域女性団体連合会 会長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

（2）「第2回地域ワーキング」内容の確認について

- ・事務局より「第2回地域ワーキング」内容の確認について説明

（3）「第3回地域ワーキング」資料の説明

- ・事務局より第3回地域ワーキングについて説明

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおり

【地域の声（案）／地域の重点項目（案）について】

- ・前文で「インターチェンジへのアクセスが十分でなく、国道8号へ～」と文章がつながっているが、インターチェンジへのアクセスが十分でないことが1つの課題。日常的な渋滞は別の課題になる。文章の整理をしてもらいたい。
- ・他の項目が体言止めで書かれているので、アクセス性が不十分、などに変えてはどうか。
- ・「災害への備え」と文章中にあるが、前段のアクセスや安全性の確保などは地域の声の1～3につながっているが、災害への備えは3つのどこにつながっていくのか。パンフレットの裏面に掲載される。説明を聞いたWG出席者は分かるが、初めて読んだ一般の方は災害への備えが課題として挙がっているのに、それに対してどういうアクションプログラムを立てているのかという位置づけは作っておくべきだと思う。
- ・災害への備えは、対象としているエリアだけの問題ではなく、県全体での問題ということで、地域として特出ししなくても県全体として評価されるため矛盾はないと考える。
- ・「国道8号へアクセスする周辺県道等における日常的な渋滞や歩行者・自転車等の安全性確保」とあるが、「渋滞」を「渋滞緩和」とした方が良いと思う。

① ネットワーク・アクセス性の向上／ネットワーク・アクセス性を高める道路の整備

- ・インターチェンジや鉄道駅と詳しく記載されることは良いと思うが、鉄道駅があるのにバスが書かれていないのはどうかと思う。公共交通という文言を入れると、向上につながるのではないと思う。公共交通を使うために車が必要な地域もある。
- ・道路整備とバス運行は関係があり、バスのすれ違いができない道路は困る。バスと書くと小さなバス停まで含まれるのでAPの趣旨にそぐわないが、公共交通という言葉を入れたらどうか。公共交通を支える道路整備は必要。発言の趣旨をくみ取った工夫をしてみしてほしい。
- ・示してもらった修正案の「鉄道駅をはじめとする公共交通の利便性向上に資する道路整備」という表現で良いと思う。

② 交通渋滞の緩和／渋滞を緩和させる道路の整備

(意見無し)

③ 通学路等の安全性向上／通学路等における自歩道等の整備

- ・14ページの備考欄には「中学生への対策も実施」と記載しているが、文章中には中学生のことは入っていない。
- ・中学生の自転車通学を盛り込む話だが、自転車は好きな道を通るし、自転車で走行するのは中学生だけではない。小学生は確実に通学路指定されているので、その確保をもらおうようにしてもらえれば良いと思う。
- ・小学生よりも中学生の事故の方が多い。範囲を広げるのは難しいと思うので、文章を「幼稚園児、児童・生徒を対象とした」とすると良いのではないかと。

- ・小学生だけが通学路指定されているという話があったが、竜王町では中学生も通学路が指定されている。市町によって異なるため、記載してもらった方が良いと思う。
- ・言葉の使い方について、「年齢・障がい等に関わらず、誰もが～」とあるが、「年齢・障がいの有無等に関わらず～」とした方が良い。

#### 【その他について】

- ・資料のとりまとめ結果の中で、国道8号と421号は明記されているが、307号の位置づけは明記しなくても良いのか。他にも含めて代替を考えているのであれば、“等”を付けてもらいたい。
- ・これまで委員が自分たちの地域でどういうところが不便で、どこを改良してほしいといった明確な箇所の意見をしてきた。100%できるとは限らないのは分かるが、どのあたりが反映されるかと期待している。家が建ってから用地買収して道路を作っていくのは大変なので、先を見越して、事業計画としてあがっているのを家を建てないように言っていただかないといけない。将来的なことを頭に入れてもらいたい。
- ・都市計画道路はあらかじめ建物が立たないように制限できるが、すべてが都市計画決定して道路整備が進んでいくわけではない。意見はよく分かるが、計画無くして事業無し。また、財政制限もあるため、いただいた意見で良い意味でのプレッシャーをかけていく必要がある。長い目で見れば本会議における議論は無駄にはならない。
- ・流れに沿って、対象区間をきちんと整理していただいて、その結果を県民・市民目線で見て妥当だと思えること、また、行政の皆さんから見てもこういうものだと思えることが大事。乖離があると困る。十分にチェックして最終的に優先順位をつけて提示してもらえればと思う。

#### (資料の記載についての指摘)

- ・資料5ページ、ランク1～3の説明で、ランク2は6点未満だが概要で3～6点と書いているので、「未満」を書きおいた方が良いと思う。
- ・資料16ページに合計13点とあるが、14点の間違いか。
- ・資料21ページに「中校生」とあるが「中高生」の間違いではないか。